

視察調査報告書

委員会名	議会運営委員会
参加者	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 委員長 宮城 克 委 員 平安座 武志 宮城 優 岸本 一徳 </div> <div> 副委員長 我如古 盛英 知念 秀明 上里 広幸 石川 慶 山城 康弘 </div> </div>
視察日時	8月6日（火）14：00～16：00
視察先概要	兵庫県 宝塚市 人口：221,189人（令和6年6月末時点） 面積：101.8 km ²
視察項目	議会活性化の取組について （１）自由討議について （２）政策研究会について （３）意見交換会について （４）その他議会活性化の取組について
調査概要	

○自由討議について

- ・平成23年9月定例会から、議会基本条例制定に伴い制度の見直しを行い、各常任委員会において自由討議を実施。
- ・その背景には、多様な考えを持つ議員がお互いの主張を理解し合い合意点を見出していくことが重要であり、議員同士の自由な意見交換がなされなければならないという考えがあった。そのうえで、合意形成に努めるものである。
- ・導入にあたって検討した事項
 - ①自由討議の前提としての論点整理
→議案説明後に委員協議会開催。各委員からの質疑事項の提出を受け、論点整理。
 - ②論点や課題の整理を行うため、会期日程の見直し
→委員会審査を会期の前半に行い、一般質問を後半とした。
- ・運用としては、質疑が出尽くした段階で、自由討議（委員間討議）を実施。→自由討議が出尽くした時点で再度質疑→質疑が出尽くした時点で質疑終結、討論へ。（会議規則の変更は必要なし）

○政策研究会について

議会基本条例にて「市政に関する重要な政策及び課題に対し（中略）条例案の策定や市長に対する政策提言等を行うため、政策研究会を置くことができる」とし、これまで、3件のテーマで研究会が設置されており、議員提出議案での条例制定や政策提言を行った実績がある。

→宝塚歌劇を市民が身近に感じる政策の研究会（H26年4月設置）抜粋

- 「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくり」研究会（H26年6月設置）
- デジタル化およびデータ利活用に関する政策研究会（令和5年10月設置）
- ・条例については、理念型なら比較的提案しやすいが、制約型、規制型の場合は他の条例等との整合、整理が困難とのことであった。

○意見交換会について

- ・開催実績：平成23年6月定例会から実施。現在までに計47回開催。（毎年2回開催するよう努めるとしている）
- ・意見を吸い上げ政策提言につなげるのではなく、市民に議会を知っていただくことに重きをおいている。
- ・開催方法については、テーマの設定、参加募集の方法、進行プログラムに工夫を重ねている。（記念撮影、議会ツアー、等）

○その他議会活性化の取組

- ・請願・陳情のオンライン提出、電子採決システムの導入、ペーパーレス会議システム導入

所感及び考察

（委員長及び各委員より）

- ・全議員が同じテーマ、条例制定への意欲、市長への提言などを議論する、スタートする際の環境やしぐみづくりが重要と感じた。
- ・「自身の意見・提言が正しい」「他の議員よりも優れた提言」等とした捉え方や審議の在り方では、常任委員会での結論をまとめあげることは難しい。
- ・本市議会では、常任委員会・分科会の審議では、ディベート（討議・対立）ではなく、ダイアログ（対話で意見を気づき上げる・まとめる）ことを、委員長がファシリテーターとして心得たうえで、対立する審議ではなく、議員相互の意見をまとめ上げていくことが必要となると感じた。
- ・本市とは異なり、政策研究会と意見交換会はリンクしていないようであったが、テーマを絞り、集中して深く掘り下げ条例等アウトプットしていくことは重大で深刻な課題へ対応する手法として有効であり、参考となった。

視察調査報告書

委員会名	議会運営委員会
参加者	<div>委員長 宮城 克</div> <div>副委員長 我如古 盛英</div> <div>委員 平安座 武志</div> <div>知念 秀明</div> <div>上里 広幸</div> <div>宮城 優</div> <div>石川 慶</div> <div>山城 康弘</div> <div>岸本 一徳</div>
視察日時	8月7日（水）14：00～16：00
視察先概要	大阪府 枚方市 人口：392,765人（令和6年6月末時点） 面積：65.12 km ²
視察項目	議会活性化の取組について （1）議会情報発信の取組について （2）オンラインによる委員会及び一般質問について （3）災害対策の訓練等について （4）その他議会活性化の取組について
調査概要	<p>○議会情報発信の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会報紙面の改革として、読んだことのない方へのアプローチ方法を考え、「ぎかい探Q」プレゼント付きクイズコーナーの掲載から始めた。 アンケートの回答数は243件と想定より多く、その感謝を伝えるレスポンスとして、メッセージ動画作成に発展していった。 アンケートの市民意見を取り入れ、用語解説や紙面のカラー化、小学生でもわかる説明等に取り組んできた。 プロモーション動画は、ぎかい探Qメッセージ動画以外にも、新春挨拶動画、議会のプロフィール動画、市長の所信表明に対する各会派の考えを発信する動画等を作成し発信。市民からは気軽に視聴でき親しみやすい、活字だけでは読み取れない議員の考え方が感じられる等、好評を得た。 課題としては、ターゲットの一定固定化、議員のリクエストと事務局の実務的な許容量との折り合い、取組の成果の客観的指標等がないことが挙げられた。 <p>○オンラインによる委員会及び一般質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に委員会条例の改正等を行い、実績として3日間の実施。 令和6年3月には会議規則の改正により、一般質問もオンラインで可能とした。 課題としては、①通信状況に不具合が生じた場合の対応、②委員長がオンラインを行う場合の議事整理、③急にオンラインを活用することとなった場合の対応（要綱では前日の正午までの申出）が挙げられた。 <p>○災害対策の訓練等について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年6月29日に実施した災害時対応行動訓練 令和6年1月12日に実施した災害対策連絡会議訓練

- ・上記実施の根拠となる市議会業務継続計画（BCP）策定の経過として、対応方針策定、対応要領制定を経たうえ、検討された。

○その他議会活性化の取組

- ・議案書や委員協議会資料のホームページ掲載
- ・議会改革に係る調査・協議機関としては、平成 12 年に設置された「議会改革懇話会」から、「特別員会」等に形態を都度変えながら、年度ごとに諮問に対し答申を行うかたちで、各 10～15 件の調査検討を行ってきている。

所感及び考察

（委員長及び各委員より）

- ・議会だよりを更新した際に、市民の反応を確認する工夫が見られた。今回の調査内容を広報広聴委員会へ申し送り、共有した方がよいと考える。
- ・議事運営のオンライン化は、実績としてはまだ件数は少ないが、例規の整備を行っておけば、災害発生時当必要な場面で運用でき、有効な手段と感じた。しかしながら、準備や通信状況等不具合時の対応、細かなルール決めには、時間を要するため、今回の学んだ方法を事例として、まずは実施する方法を考えたいと感じた。
- ・災害対策の訓練は、本市議会でも模索しながら取り組んでおり、今回資料提供いただいた訓練次第やスライドで提示された写真等は大変参考になり、今後の訓練に生かせるものと感じた。